

公開授業のお知らせ

中学校 国語

- 会場 多良木町立多良木中学校
- 日時 令和5年（2023年）11月15日（水）
受付 13:20～13:40 オリエンテーション 13:40～13:45
公開授業 13:50～14:40 授業研究会 15:00～16:30
- 授業プレゼンター 多良木町立多良木中学校 那須 裕貴 教諭
- 授業サポーター 人吉市立第二中学校 吉田 淳 教諭
あさぎり町立あさぎり中学校 上淵 匡基 教諭
多良木町立多良木中学校 増井 智展 教諭
- 学年 第1学年
- 題材名 **いにしへの心にふれる 蓬萊の玉の枝 -「竹取物語」から**

〈授業の見所〉

今回の授業の見所は「熊本の学び」授業づくりポイントの「生徒の『わくわく』が連続し、『学びを生かそう』とする姿が生まれる単元デザインの工夫（既習事項を生かす場面の設定）」及び「生徒の『なぜ』『おそらく』が生まれる導入の工夫（生徒自らが問いを発する場面の設定）」です。

単元を通じた学習課題を「日本最古の物語『竹取物語』がなぜ、現在まで多くの人に読み継がれてきたのか考えよう」と設定し、その課題を解明するために古文を読むという目的意識を生徒にもたせることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業展開の工夫を行います。

本時では、竹取物語が現在まで読み継がれた謎を解明するために、場面ごとに出た問いを解決する時間を設定します。「作者はなぜ～」という視点で生徒自身が課題を設定し、作者の意図や思いにふれることで、竹取物語の魅力や面白さに迫ります。

